

学校通信

学校生活における大切なお知らせです

9

2025 SEP.

第268号

学校長からのメッセージ

本校の教員が以前の勤務校での経験を語りました。「その学校では、校則が厳しく、生徒らに守らせることで必死でした」と。生徒たちは、威圧的な大きな声の男性教員に萎縮し、大人しい女性の副教科担当には反抗的な態度だったそうです。「YMCAは風通しが良くていいですね」と、今の環境をそのように言ってくれました。

私はこれまでに不登校の生徒や保護者から、校則についての話を聞いてきました。「とにかく一度学校に来るように」と促され、勇気を出してやっと思ったのに、「よく来たね」の前に開口一番「なんや、その髪の色は」と言われた人もいます。つい最近も中学校で、生まれつき薄い眉毛を指摘され、親が説明しても「伸ばすように」と言われ、「中学にはもう二度と行かない」と決めたそうです。今、不登校の増加が社会課題となり、寄り添う教育が求められている時代に、こうしたことがまだある現実に驚かされます。

このような現実と向き合うと、「校則は何のために、誰のためにあるのか…」と考えさせられます。私たちはいつも「生徒との3つの約束」に立ち戻ります。①自分を大切にする ②相手を大切にする ③学びをあきらめない その意味を深く考えたいと思います。髪の色や服装は「自分を大切」にしていますか？そしてそのことは「相手も大切」にしていますか？「自分らしくある」や「自由」というのは、どのようなことなのか。親戚の家に行く時、ライブに行く時、就職や入試の面接を受ける時…その場にふさわしい「姿」は、自分と相手の双方を大切に思いやる心から生まれます。

私はよく着物を着ます。心が凜とし、その場を大切に丁寧に振舞おうと思います（自分を大切にする）。また着物での訪問は相手に「この場を大切にしてくれてありがとう」と喜ばれます（相手を大切にする）。それは私の心を現し、お互いの関係を深めるものだと感じます。

9月、あなたはどの様に過ごすのでしょうか？ 自分も周りも大切に、学びをあきらめない… このひと月、考えてみてはいかがでしょうか。

(校長 鍛冶田千文)

主は正しくいまし、恵の業を愛し 御顔を心のまっすぐな人に向けてくださる

(詩編 11 章 7 節)

学校法人 大阪YMCA
YMCA 学院高等学校〒543-0073 大阪市天王寺区生玉寺町 1-3
TEL 06-6779-5690 FAX 06-6779-1831

[こちらから](#)大阪YMCAの機関紙
「大阪青年」にアクセスできます





今月の聖句

「だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かって「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。」

(コリントの信徒への手紙 I 12 章 20-22 節)

スコットランドの哲学者トマス・リードの言葉に、「鎖の強度は一番弱い箇所の強さに等しい」というものがあります。鎖が壊れるとき、それは最も弱い輪が力に耐えられずに壊れることによってはじまります。では、その弱い輪を強い輪に取り替えればいいのか、という話はそう簡単ではありません。たとえ取り替えたとしても、今度は次に弱い輪に力がかかるからです。

わたしたちは、時に、弱い部分を隠し、あわよくばそれを取り替えたい、と願うことがあります。ところが、それを取り替えても、次の弱い部分があらわれ、また同じことを繰り返してしまう。自分の体の気に入らない部分をうまく隠せても、今度は別の嫌な部分が目立って気になる。共同体や社会の内部で「弱い者」を排除しても、今度は別の「弱い者」が作りだされる。このような「弱い輪を取り替える」という見方の問題点を 2000 年以上前に指摘したのが、今回の聖句です。

この言葉は、イエスの死後、キリスト教の教会形成に力を尽くしたパウロという人物が、当時分裂の危機にあったコリントという港町の仲間にした手紙の一節です。では、なぜパウロは「弱く見える部分がかえって必要だ」と言ったのか。それは、他の部分が弱い部分を補おうとすることによって、当の弱い部分だけでなく、他の部分もまた「見栄えが良くなる」から。それだけでなく、弱い部分と他の部分が互いに配慮することによって、「体の分裂」を避けることができるから、というのです。晩年まで体の不自由さを抱えていたパウロ。そして、何よりイエスの弟子の殺害に積極的に加担したという苦い過去と向き合い続けたパウロ。彼にとって、「弱く見える部分」とは何だったのか。それは「隠し」「排除する」対象ではなく、他者とながら支え合う「窓」だったのではないのでしょうか



「今月の聖句」 自己紹介文

森山 徹

今年度から YMCA で働くことになりました、森山徹です。Y リンクコースの担当で、火曜と水曜に学校にいます。好きなことは、読書(マンガ含)とスポーツ観戦と休日の二度寝。聖書の言葉や物語の魅力も少しでも共有できればと思っています。

